

栃木県知事 福田 富一 様

2013年9月5日  
日本共産党栃木県委員会  
委員長 小林年治  
前栃木県議会議員 野村せつ子

## 米軍横田基地所属のC-130輸送機による低空飛行訓練に関する申し入れ

米軍は、米空軍横田基地所属の第374輸送航空団のC130輸送機が、西は南アルプス周辺、東は茨城県上空、南は伊豆半島、北は群馬、栃木県上空までの広い範囲を低高度（地上約150～1500メートル）の編隊による有視界飛行訓練の空域として、いることを明らかにしています。

8月19日、米軍横田基地のC130輸送機の編隊飛行訓練が行われ、県内の日本共産党の組織や栃木県平和委員会などが監視活動を行いました。その結果、佐野市、栃木市、野木町、真岡市などで、1機から7機の編隊飛行11件の目撃情報がありました。「山の稜線すれすれを飛んでいた」（佐野市葛生）、「高度数百メートル以下の低空飛行だった。爆音は大きかった」（真岡市）、「おばあちゃんが怯えていた」（栃木市）などの声が寄せられました。これまでも「みかも山周辺」に訓練ルートが存在することがわかっていますが、真岡市など県南東部での目撃情報も寄せられました。また、19日以降も目撃情報が次々と寄せられています。

横田基地周辺の自治体には、防衛省・北関東防衛局から編隊飛行訓練などの情報提供がありますが、県内では、低空飛行訓練が行われているにもかかわらず、県民に一切情報が提供されず、不安や危険性を指摘する声もひろがっています。

さらに、米太平洋空軍の司令官は7月29日、空軍仕様のCV22オスプレイの有力な配備候補先として、横田基地を挙げました。CV22が横田基地に配備されれば、危険な降下訓練やタッチ・アンド・ゴーを横田基地で行うとともに、低空飛行訓練をC130の訓練空域で実施する恐れもあります。

つきましては、県民の生活と安全を守るために、県が下記の項目を実施するよう申し入れます。

### 記

- 一、 県民の生活に危険な影響を及ぼす米軍C130輸送機の低空飛行訓練はただちに中止するよう、在日米軍、防衛省にたいして求めること。
- 一、 米軍C130輸送機の低空飛行訓練の空域と経路など、訓練の実態を明らかにすることと、訓練計画について事前に県や関係自治体に通知するよう、在日米軍、防衛省にたいして求めること。
- 一、 米軍C130輸送機による低空飛行訓練の計画について県民に情報提供すること。
- 一、 米空軍によるCV22オスプレイの横田基地への配備に反対すること。

以上